

昭和62年以前生産のアスベスト含有ロックウール吸音天井板からのアスベスト飛散に関する測定結果について

使用中のアスベスト含有ロックウール吸音天井板から、アスベスト飛散なし

ロックウール工業会環境委員会では、昭和62年以前に生産したアスベスト含有ロックウール吸音天井板を使用した室内にアスベストが浮遊しているかの確認のため、アスベスト粉じん濃度測定を行い、その結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

## 1. 測定対象建物

測定を行った建物は下表のとおりです。

建物名	所在都道府県	竣工年	備考
A 建築物	富山県	1970年(s45)	アスベストはクリソタイル使用
B 建築物	静岡県	1972年(s47)	アスベストはクリソタイル使用
C 建築物	大阪府	1980年(s55)	アスベストはクリソタイル使用

## 2. 委託測定機関

試料採取:三洋電機(株)環境リサーチセンター

分析機関:(社)日本作業環境測定協会精度管理センター

## 3. 測定年月日

測定は平成17年12月18日から12月20日の間で行った。

## 4. 測定方法

### (1) 試料採取方法

試料採取は、施工されているアスベスト含有ロックウール吸音天井板表面から約30cm離れた位置で6箇所において、直径25mmのメンブランフィルタを使用して、吸引流量5L/分で、120分間吸引した。また、建築物外でのアスベスト粉じん濃度の状態を把握するため、建築物外1箇所で、吸引流量5L/分で、120分間試料を採取した。

### (2) 分析方法

ロックウールは纖維状物質であるため、従来の位相差顕微鏡による方法では、ロックウールとアスベストの判別が困難なため、位相差・分散顕微鏡を使用した分散染色法により、計数分析を行った。

## 5.測定結果

測定結果は下表のとおり。

測定点 No	A 建築物 (クリタル繊維数濃度 f/L)	B 建築物 (クリタル繊維数濃度 f/L)	C 建築物 (クリタル繊維数濃度 f/L)
1	0.47 以下	0.47 以下	0.47 以下
2	0.47 以下	0.47 以下	0.47 以下
3	0.47 以下	0.47 以下	0.47 以下
4	0.47 以下	0.47 以下	0.47 以下
5	0.47 以下	0.47 以下	0.47 以下
6	0.47 以下	0.47 以下	0.47 以下
平均	0.47 以下	0.47 以下	0.47 以下
屋外ブランク	0.47 以下	0.47 以下	0.47 以下

定量下限(f/L):0.47

## 6.まとめ

施工されているアスベスト含有吸音天井板のごく間近で試料採取したが、いずれも定量下限 (0.47 f/L) 未満であり、建築年数がたっていても、アスベスト含有吸音天井板からのアスベストの飛散は認められなかった。

従って、アスベスト含有吸音天井板を使用していても、アスベストの飛散はなく問題はないが、施工されたアスベスト含有吸音天井板を解体・改修する際は、石綿障害予防規則に基づく措置が必要である。

以上



測定の様子